

新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	ヒト恒常性ミクログリアの多様性と病態特異的崩壊機構に関する研究
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	本研究の研究対象は、ゲノム指針が施行された 2001 年 4 月以降現在まで、新潟大学脳研究所病理学分野における病理組織学的検索によりアルツハイマー病、軽度認知機能障害、進行性核上麻痺、基底核変性症と診断された患者さん、及び、脳疾患はないと診断された患者さんで各 3 例です。従って、本研究の対象となる患者さんのご遺族で、上記の期間に、死体解剖保存法に則った病理解剖時に、診断を確定するとともに病気解明のために医学研究を行うことを説明され、同意していただいている方が本研究情報開示の対象です。対象期間：2010 年以降現在まで。
③概要	アルツハイマー病や、進行性核上麻痺、基底核変性症などの脳疾患においては、未だ十分に有効な治療法が確立していません。本研究は、アルツハイマー病、軽度認知機能障害、進行性核上麻痺、基底核変性症の脳サンプルを用い、脳内の炎症状態を評価しうる抗体を用いて、それぞれの疾患の脳内炎症状態を評価することを目的とし、実施します。
④申請番号	2026-0100
⑤研究の目的・意義	本研究を実施することにより、アルツハイマー病などの脳内炎症状態に関する新たな評価基準を確立できる可能性が期待されます。その結果、患者さんにとって有益な新たな診断・治療手段の提供に貢献できる可能性があります。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2029 年 3 月 31 日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	新潟大学脳研究所脳病態評価技術創生学分野において、病理解剖にて採取した死後脳パラフィン包埋切片、及び付随する情報（脳組織所見、年齢、性別、臨床診断、罹病期間、治療経過、処方歴）を病理分野と共有し、脳内のグリア細胞の恒常性について病態特異的抗体を用いて解析し、疾患ごとの脳内炎症状態の評価基準の確立を目指します。
⑧利用または提供する情報の項目	死後脳パラフィン包埋切片、及び付随する情報（脳組織所見、年齢、性別、臨床診断、罹病期間、治療経過、処方歴）。個人を特定する情報は提供しません。
⑨利用する者の範囲	新潟大学脳研究所病理学分野、並びに、脳病態評価技術創生学分野で利用いたします。 新潟大学 脳研究所 脳病態評価技術創生学分野 佐原 成彦
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学 脳研究所 脳病態評価技術創生学分野 特任准教授 佐原 成彦
⑪お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記

	にご連絡をお願いします。 所属：新潟大学 脳研究所 脳病態評価技術創生学分野 氏名：佐原 成彦 Tel：025-227-0923 E-mail：naruhiko.sahara.bri@niigata-u.ac.jp
--	--